

お客様各位

2004年4月16日

流入流出分析:一部機能変更について

株式会社ビデオリサーチインタラクティブ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ネットレイティングス社とのパネル統合に伴い、WebReport の「流入・流出分析」メニューにつきましては、2004年4月5日週以降のデータ分より、集計方法、及び操作方法を変更させていただきます。

何卒ご理解、ご了承のほどお願い申し上げます。

1. 集計方法の変更

流入流出分析の際、ページ遷移の前後関係を特定する方法を下記の通り変更致します。

従来の方法 : 同一ブラウザウィンドウ、画面表示方法による画面遷移関係を測定。
流入流出関係をデータベース化し分析

変更後の方法 : クリック等によりページ遷移した際の「リファラ情報」によりリンク元のページを特定して、画面遷移の前後関係を測定。

2. WebReport 操作上の変更点

(1) メニュー表記の変更 (図1)

機能変更後の流入流出分析(2004年4月5日週データより)については、メインメニュー上の[新・流入流出分析]よりご利用下さい。

また、2004年3月29日週までのデータによる流入流出分析につきましては、「流入・流出分析」によりご利用下さい。

[流入・流出分析]... 2004年3月29日週までのデータが分析可能

[新・流入流出分析]... 2004年4月5日週以降のデータが分析可能

なお、その他の[特別分析(MAX分析、重複分析)]につきましてもメインメニューより直接選択していただく方式に変更致します。

(2) 条件設定画面(図2)

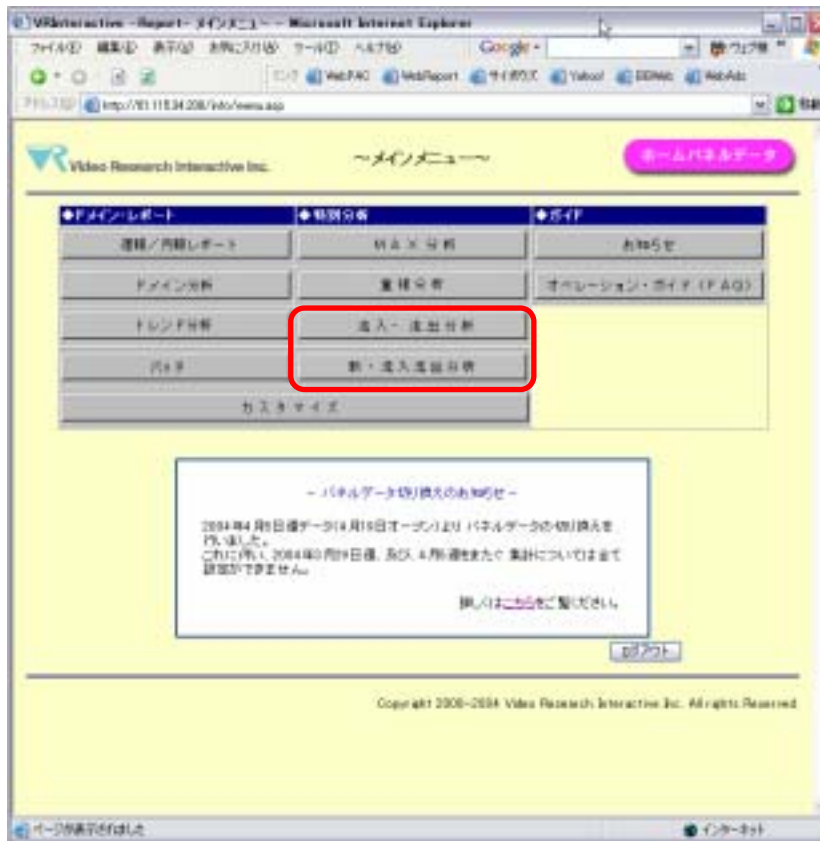
従来の集計方法の選択(画面遷移 or ハイパーリンク遷移)が廃止されました。

これは画面遷移の前後関係をリファラ情報からのみ取得している為です。

(3) 分析結果画面

基本的に従来と同様ですが、上記、集計方法に関する表示が廃止となります。

【図1：メインメニューの変更】



【図2：新・流入流出分析 の条件設定画面】

